

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校セントラルトリミングアカデミー
設置者名	学校法人秋田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専修学校 専門課程	動物美容・管理		1,005 時間	160 時間	
	動物看護		1,860 時間	240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校 Web サイト <a href="https://akitagakuen.ac.jp/jitsumu/">https://akitagakuen.ac.jp/jitsumu/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校セントラルトリミングアカデミー
設置者名	学校法人秋田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校 Web サイト <a href="https://www.akitagakuen.ac.jp/riji/">https://www.akitagakuen.ac.jp/riji/</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	愛知県立高等学校校長	2024. 4. 8～ 2028. 4. 7	教務
非常勤	会社員	2024. 4. 8～ 2028. 4. 7	広報
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校セントラルトリミングアカデミー
設置者名	学校法人秋田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(1) 前期、後期の期末にカリキュラム検証委員会で定例会議を開き、カリキュラムと施設設備、人員配置について改善点や継続点を協議する。</p> <p>(2) 前年度末までに作成し公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>前期、後期に定期考査または課題によって評価を行う。 評価は前述の試験結果または課題の評価点に加え、出席点や平常点を加味する。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

評価方法

(1) 素点基準

出席：40点、テストまたは課題：100点、平常：10点の配分で150点満点

(2) グレード・ポイント制度

新 評定	素点範囲	グレード・ ポイント
S	150～135 (90%以上)	4
A	134～120 (80%以上)	3
B	119～105 (70%以上)	2
C	104～90 (60%以上)	1
D	89以下	0

※Dを不認定とする。

※評定平均(グレード・ポイント・アベレージ)で順位付けを行い、成績下位者25%を算出する。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

本校舎事務局に据え置き公表する。

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

(1) 出席率

総日数の85%の出席率を必要とする。

出席率は期末考査後の成績証明書に記載して配布する他、担任を通じて月末の集計後に、随時確認可能としている。

また、土曜日に無償の補習実習を行うことで、出席率を計画的に補填することが可能としている。

(2) 各教科評定

各教科の評定がC以上。1教科でもD判定があれば進級不可とする。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

本校舎事務局に据え置き公表する。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校セントラルトリミングアカデミー
設置者名	学校法人秋田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校舎事務局に据え置き公表する。
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

動物美容・管理学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門	動物美容・管理	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2055 単位時間/単位	330 単位時間 /単位	75 単位時間 /単位	1650 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2055 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180 人		113 人	人	14 人	13 人	27 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） トリマーコース。1年次からコース分けを行い、トリミング、動物看護、ドッグトレーニング、ペットビジネスを総合的に学ぶカリキュラムで複数の技術と知識を身に付ける。2年次はトリミング実習に特化した教育を行い、卒業後に即プロとして活躍できるような人材を育成している。
成績評価の基準・方法
（概要） （1）素点基準 出席：40点、テストまたは課題：100点、平常：10点の配分で150点満点 （2）評定基準 S…素点の90%以上、A…80%以上、B…70%以上、C…60%以上、D…不認定 ※成績下位者25%は評定平均値を順位付けで算出。
卒業・進級の認定基準
（概要） （1）進級の認定基準 ・評定…各教科C以上 （2）卒業の認定基準

・出席率…総日数の85%以上
学修支援等
(概要) 土曜日に無償補習授業を実施することで欠席者を救済するだけでなく、意欲のある学生が更に技術を向上させることが可能な環境を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
66人 (100%)	0人 (%)	60人 (90%)	6人 (10%)
(主な就職、業界等) ペットサロン、動物病院、専門学校			
(就職指導内容) 1年次の授業でビジネスマナー、履歴書の書き方、電話の掛け方を指導し、学年末に個別指導を行う。2年次はインターンシップを実施し、就職活動を後押しする。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 本校独自のトリマー、動物看護師、ドッグトレーナーライセンス取得可能。卒業時に各自の申請で動物取扱責任者に登録可能。			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
132人	12人	9%
(中途退学の主な理由) 体調不良、家計悪化、進路変更によるため。		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任及び事務職員によるカウンセリング実施。 欠席または個人差による技術習得の遅れを補う、土曜日の無償補習授業の実施。		

動物看護学科

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	専門	動物看護	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2685 単位時間/単位	1200 単位時間 /単位	15 単位時間 /単位	1470 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		2685 単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	95人	人	14人	13人	27人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 動物看護師コース。1年次からコース分けを行い、トリミング、動物看護、ドッグトレーニング、ペットビジネスを総合的に学ぶカリキュラムで複数の技術と知識を身に付ける。2年次以降は動物看護師国家資格取得を見据えた受験対策授業を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） （1）素点基準 出席：40点、テストまたは課題：100点、平常：10点の配分で150点満点 （2）評定基準 S…素点の90%以上、A…80%以上、B…70%以上、C…60%以上、D…不認定 ※成績下位者25%は評定平均値を順位付けで算出。
卒業・進級の認定基準
（概要） （3）進級の認定基準 ・評定…各教科C以上 （4）卒業の認定基準 ・出席率…総日数の85%以上
学修支援等
（概要） 土曜日に無償補習授業を実施することで欠席者を救済するだけでなく、意欲ある学生が更に技術を磨くことができる環境を整えている。獣医師の資格保持教員を複数名配置し、受験指導にも力を入れている。動物病院も開設して各種検査機器を備え、実習環境を充実している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 （ % ）	人 （ % ）	人 （ % ）	人 （ % ）
（主な就職、業界等） 動物病院、ペットサロン、動物飼養施設			
（就職指導内容） 1年次の授業でビジネスマナー、履歴書の書き方、電話の掛け方を指導し、学年末に個別指導を行う。2年次はインターンシップを実施し、就職活動を後押しする。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 本校独自のトリマー、動物看護師、ドッグトレーナーライセンス取得可能。卒業時に各自の申請で動物取扱責任者に登録可能。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

102 人	7 人	7%
<p>(中途退学の主な理由)  体調不良、家計悪化、進路変更によるため。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)  クラス担任及び事務職員によるカウンセリング実施。  欠席または個人差による技術習得の遅れを補う、土曜日の無償補習授業の実施。</p>		



②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
動物美容・管理	200,000 円	700,000 円	340,000 円	1 年次
同上		780,000 円	360,000 円	2 年次
動物看護	200,000 円	700,000 円	340,000 円	1 年次
同上		780,000 円	360,000 円	2 年次
同上		780,000 円	360,000 円	3 年次
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://akitagakuen.ac.jp/evaluting_school/">https://akitagakuen.ac.jp/evaluting_school/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) (1)教育内容、(2)教職員の配置、(3)学生指導、(4)施設設備、(5)学校運営の項目を基に、前年度に目標を定め、学校の教職員や卒業生、ペット業界関係者と意見交換を行って、学校関係者評価を行い公表する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
中日トリミングスクール	3 年	企業
ナオミ パンとクッキングサロン	3 年	企業
フラッグテール	3 年	卒業生
同上	3 年	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://akitagakuen.ac.jp/evaluting_school/">https://akitagakuen.ac.jp/evaluting_school/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://akitagakuen.ac.jp">https://akitagakuen.ac.jp</a>
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H123310001436
学校名 (〇〇大学 等)	専門学校セントラルトリミングアカデミー
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人秋田学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		26人 (-) 人	26人 (-) 人	26人 (-) 人
内 訳	第Ⅰ区分	-	-	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅱ区分	-	-	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅲ区分	-	-	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0人	0人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	-	-	
区分外 (多子世帯)	-	-		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0人 (0) 人
合計 (年間)				26人 (-) 人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	1人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	1人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	1人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	0人	1人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	人	前半期	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	1人	2人
計	人	1人	2人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。